

全住民が支え合う 地域社会の育成を



講演する日福大の原田教授
＝大府市の愛三文化会館で

大府市社協45周年で 日福大次期学長講演

大府市社会福祉協議会の設立四十五周年記念式典が九日、同市の愛三文化会館で開かれた。記念講演会では、四月から日本福祉大学の学長に就任する原田正樹・同大教授が登壇。少子高齢化社会で求められている「地域共生社会」について説いた。

原田教授は二〇四〇年ごろには、子どもをもうけなかった団塊ジュニア世代や、若者の未婚化の進行で、単身世帯が大幅に増えると指摘。「共同体機能の脆弱化や社会の担い手不足

を補うためには、あらゆる住民が役割を持って支え合

い、自分らしく活躍できる地域コミュニティの育成が求められている」と話した。

式典では、民生の安定や社会福祉に貢献した十二団体と三十四人に市社協会長表彰状、二十三団体と百二十六人に同感謝状が贈られた。市社協が新たにつくったマスケットキャラクターの発表もあった。

(三宅駿平)